

令和7年度たから子ども園自己評価（教育・保育の振り返り）

1. 指導計画の作成

A:できた B:どちらともいえない C:努力が必要

	内 容	評価	意見・改善点
1	園の理念や方針を理解し、日常の教育・保育に反映していますか	A	
2	年・月案などの長期的な指導計画と関連させて、より具体的な週・日案などの指導計画を作成していますか	A	
3	指導計画はクラスの園児の実態を考慮して作成していますか	A	
4	指導計画に基づいて、行事・活動等の環境を構成していますか	A	
5	週案・日案などの指導計画は園児の興味・関心や意欲に合わせて活動が展開できるように作成していますか	A	
6	指導計画は日々の保育の連続性や季節の変化を考慮して作成していますか	A	
7	家庭との連携に配慮して指導計画を作成していますか	A	
8	指導計画を園児の発達の姿・興味・関心に基づいて見直し、次の計画作成にいかしていますか	A	

2. 教育・保育内容

(1) 健 康

9	保育者が率先して体を動かすなど、園児がその楽しさを体験できるよう働きかけていますか	B	昨年と同様だが職員の高齢化が進む中で、業務遂行にあたっては年齢に応じた配慮や工夫が必要。
10	健康な生活リズムを身につけることができるよう、一日の保育の時間配分など考慮していますか	A	
11	戸外遊びの後、園児と一緒に手洗いやうがいを自らが手本となって指導し、感染症予防に努めていますか	A	
12	食事の前や排せつの後の手洗いの励行・マスクの着用など、清潔及び安全の習慣が身につくよう指導していますか	A	
13	食事、排せつなど生活に必要な活動の仕方を身につけるよう指導していますか	A	
14	遊びや活動の後の片付けなどができるよう指導していますか	A	
15	衣服を自分で着脱したり、整理したりできるよう指導していますか	A	
16	危険に気づいて行動できるよう安全についての心構えを日頃から話し、実践していますか	A	

(2) 人間関係

17	自分でできたという充実感を味わえるような体験のできる活動を取りいれていますか	A	
18	友達と一緒に喜んだり、悲しんだりすることができる機会をつくっていますか	A	
19	祖父母や地域の方と接したときは、自分から親しく声掛けをしていますか	A	
20	つまづきや葛藤、けんかなどが育ち（発達）に欠かせないものとしてとらえ、対処していますか	A	
21	友達同士思ったことを相手に伝え、相手の思っていることにも気付けるよう援助していますか	A	
22	友達と一緒に一つのことをやり遂げることや、達成感が味わえるような機会を作っていますか	A	
23	良いことや悪いことがあることに気づき、考えて行動することができるように支えていますか	A	
24	順番を守るなど、決まりの大切さを理解できるよう丁寧に説明していますか	A	
25	共同の遊具や用具を大切にしなければいけないことを、活動を通して体験できるよう配慮していますか	A	
26	当番活動や保育者の手伝い、誰かのために役に立つ喜びを味わえるようにしていますか	A	

(3) 環 境

27	その日の天気に合わせて保育をしていますか	A	
28	身近な動植物を飼育栽培するなど、それらに興味・関心を持つことができるよう配慮していますか	A	
29	園児が身近な動植物との関りから、生命の尊さに気づくよう働きかけていますか	A	
30	園庭や散歩で集めてきた葉や木の実など、季節感のある素材を保育の中で活用するようにしていますか	A	
31	生活の中で数を数えたり形を意識するなどして、数量や図形などに関心を持つよう工夫していますか	A	
32	身の回りにある簡単な標識や文字などについて、興味や関心を持たせる工夫をしていますか	A	
33	散歩や園外保育などで地域の公共の場を利用するなど、社会体験を得られる機会を作っていますか	A	

(4) 言 葉

34	心のこもった挨拶を園児とかわしていますか	A	昨年に引き続き、話し方に含まれる方言の影響により、場合によっては受け手が威圧的・強く感じてしまう場面が見受けられた。音量などにも配慮していきたい。
35	正しく、美しい言葉遣いで園児に話していますか	B	
36	園児がしたいこと、してほしいことを話している時、最後までゆったりと聞くよう努めていますか	B	
37	園児がわからないことを尋ねることができる雰囲気をつくっていますか	B	
38	園児が見たこと、聞いたこと、感じたことなどをその子なりの言葉で表現する機会を大切にしていますか	A	
39	どの園児も自分の意見をいうことのできる環境に留意していますか	B	
40	園児がみんなの前で話すときは、相手にわかりやすく話せるように援助していますか	A	
41	絵本や紙芝居の読み語りをするとき、言葉の楽しさや美しさに気づくよう心がけていますか	A	
42	絵本や物語の内容と自分の経験とを結び付けたり、想像をめぐらせたりできるよう読み方を工夫していますか	A	
43	ごめんなさい、ありがとうなど、生活に必要な言葉をいつも使えるように指導していますか	A	

(5) 表 現

44	美しいと感じるものを他児と共有し、完成を育むことを心がけていますか	A	
45	歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気づき、楽しめるよう援助していますか	A	
46	園生活の中で様々な色、形、手触りなどに気づき、楽しむことのできる機会をつくっていますか	A	
47	友達と一緒に表現することの喜びを味わえるような機会をつくっていますか	A	
48	ハサミなど道具の正しい使い方を一人ひとりに丁寧に教えたり、見守ったりしていますか	A	

3. 保育環境

49	常に手洗い場やトイレを清掃、消毒し、清潔を保つようにしていますか	A	
50	季節に合わせて保育室の環境に工夫をしていますか	A	
51	保育中に音楽を流すときは選曲や音の大きさに配慮していますか	A	
52	保育中のあなた自身の声の大きさはいつも子ども達にとって適切な大きさですか	A	
53	日々の保育の中に園児が自由に遊べる時間帯を設けていますか	A	

4. 保育記録の作成

54	日々の保育日誌に必要な応じての記録が園児の発達援助に必要であることを知っていますか	A	
55	保育記録、クラスだより、連絡帳を通して家庭や園における子どもの様子を保護者と共通理解していますか	A	
56	その日にあった出来事や気になる園児の様子などをほかの職員と共有していますか	B	
57	園児の個人記録などは、個人情報保護法や守秘義務に基づいて無断で園外に持ち出さないようにしていますか	A	

5. 情緒の安定

58	園児が喜んで登園するためにその日の活動や環境などの配慮をしていますか	A	
59	登園時、園児の状況に応じて、抱いたり、優しく声をかけたりしていますか	A	
60	園児が何を求めているか、いつも思いをめぐらせていますか	B	
61	不安になったときにいつでも支えられるよう、一人ひとりの園児を視野にいれていますか	B	
62	園児に一人ひとりに分かりやすい温かな言葉で穏やかに話しかけていますか	B	
63	「待って」などと言わず、なるべくその場で対応するようにしていますか。又、後でねと言った時、忘れず対処していますか	A	
64	「できない」、「やって」などと言ってくる時、その都度気持ちを受け止めて対応していますか	A	
65	「いや」などと駄々をこねるその子の気持ちをくみとろうとしていますか	A	

6. 健康管理

66	園児一人ひとりの日々の健康状態を把握して保育をしていますか	A	
67	健康面で体の具合の悪い時等の様子を保護者に伝えていますか	A	
68	嘱託医による健康診断の結果を他の職員と共有していますか	A	
69	偏食を直そうと過度に叱ることがないように配慮していますか	A	
70	その日の給食の食貝具合など健康状態を観察し、必要に応じて保護者に知らせていますか	A	
71	家庭では十分に睡眠をとるなどして健康な生活リズムを身に付けるよう保護者への啓発に努めていますか	A	

7. 保護者への対応

72	送迎の際に保護者に声をかけたり会話するようにしていますか	A	
73	保護者が子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう心がけていますか	A	
74	保護者からの依頼や伝言の内容を必要に応じて記録し、対応していますか	A	
75	子どもの発熱やけがの際に保護者に連絡をとる方法のマニュアルを理解していますか	A	
76	個々の子どもの様子を直接話したり、電話や連絡帳などを使って伝え合っていますか	A	
77	保護者からの様々な訴え、要望、意見については謙虚に話を聞き、園長に相談して解決に向けていますか	A	
78	電話は相手に見えないため誤解が生じやすいので、手短かに簡潔に要領よく伝えていきますか	A	
79	園のすべての保護者に対し、親しみを込めたあいさつや会話を心がけていますか	A	
80	クレームの内容によっては、園全体で検討し共通理解の上で対処していますか	A	

8. 保育にあたっての留意点

81	自分の保育実践について、上司からの意見を謙虚に受け止めることができますか	A	
82	同僚との間で、自分の実践について質問をしたり意見を交わしたりすることができるような良好な関係を築いていますか	B	
83	保育・教育に関する話を聞く、専門書を読むなどして、保育に関わる様々な知識や技術の向上にむけて努力していますか	B	
84	保育者の人間性が子どもに影響を与えることを自覚して日々保育に励んでいますか	B	
85	自分の保育実践について、日々反省する時を設けるように心がけていますか	B	
86	職務上知りえた園児に関する情報を、たとえ自分の家族や友人にでも話さないようにしていますか	A	
87	園の備品を大切にしていますか	A	

9. 特別支援

88	障害のあるなしに関わらず、どの子からも持ち味の良さを感じるように配慮していますか	A	
89	障害児の保護者の気持ちを受けとめ、家庭との連携を密にして信頼されるよう努めていますか	A	
90	専門機関との連携を図りながら、他の子どもの生活を通して共に成長できるように努めていますか	A	

10. まとめ

本年度は、各クラス・各担当において、子ども一人ひとりの発達段階や個別性を踏まえた保育を実践し、安心して過ごせる環境づくりに努めた。日々の関わりの中で信頼関係の構築を図るとともに、絵本の読み聞かせや製作活動、遊びの展開を通して、子どもの主体性や興味関心の育成につなげることができた。

食育・給食業務においては、衛生管理及びアレルギー対応の徹底を図り、事故なく安全な給食提供を継続することができた。また、新規メニューの導入やクッキング活動等を通じて、食への関心を高める取り組みを行った。

職員体制においては、日常的な情報共有や連携を図りながら、チームとして保育にあたることができた。保護者対応についても、日々の関わりや連絡を通して信頼関係の構築に努めた。

一方で、課題として、子どもへの関わり方における言葉掛けや待つ姿勢の不足、保護者への説明の具体性や伝達の在り方、職員間における報告・連絡・相談の徹底などが挙げられる。また、業務の効率化、休憩時間の確保、職員の体調管理等、労務環境の整備についても継続的な改善が必要である。

今後は、これらの課題を踏まえ、保育の質の向上を図るとともに、職員一人ひとりが主体的に動ける組織体制の構築、安全管理の一層の徹底、並びに保護者に対する丁寧で分かりやすい情報提供に努め、より安心・安全な保育環境の充実を図っていく。